

# 菊鹿愛

学校教育目標(菊鹿小中学校)  
「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて  
挑戦し続ける児童生徒の育成」

菊鹿小スローガン  
～学び合い 伝え合い 菊鹿愛～  
文責(校長 早田 宗生)

## 県学力・学習状況調査結果配付

12月に3年生以上で実施した県学力・学習状況調査の結果が届きましたので、2月13日(火)に個票を配布しました。この検査は、個人の状況を把握するのはもちろん、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために実施されるものです。調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。成績による序列化や過度な競争が生じないようにするなど十分配慮することが必要です。

国語では、全国標準との比較でみると、**全ての領域において全国を大きく上回る結果でした**。その中でも学校全体として全国を大きく上回ったのは「文章を書く」です。「漢字」については、4年生の読み、5年生の書きについては全国を大きく上回り、3、5、6年生の読み、3、4、6年生の書きは、全国並みまたは下回る結果でした。本校の課題は「漢字」ということが結果から見えました。

算数では、全国標準との比較でみると、**全ての領域において全国を大きく上回る結果でした**。その中でも全国を大きく上回ったのは「変化と関係」です。「図形」では、4年生が全国を大きく上回っていますが、3、5、6年生においては、全国と大きな差はみられません。本校の課題は「図形」領域と見ることができます。

結果の分析をもとに、学校では授業改善に取り組みます。児童は、県学力調査結果(個票)に示されているQRコードで復習問題に挑戦することができます。自分の課題を意識しながら、家庭学習(自学など)に取り組ませてください。



## 椎茸コマ打ち体験：3年生学級レク

10日(土)に椎茸コマ打ち体験をしました。これは、昨年度復活させたもので、今年は山鹿警察ボランティアや虹の会のみなさんに多数御協力をいただきました。電動ドリルで下穴を開け、「コマ」を打ち込み、田代元校長の杉林に寝かせました。子どもも親も楽しみながら活動することができました。3年生の学級委員さん(松本さん・立山さん)も事前の準備、当日の運営等お世話になりました。



## どんな言葉をつかっていますか

私は教員1年目、新設された女子バレー部を担当し、初めてバレーボールに触る生徒たちに基礎から教えることになりました。少々過熱気味の練習をしていますが、技能面向上よりも人間関係づくりに難しさを感じるようになりました。ある日、職員室に戻り話していたところ、年配の先生からアドバイスがあり、「なあ〜ん、簡単タイ。先生が共通の敵になればよかつタイ。」と。つまり、私への不満、陰口・悪口で関心が自分たち以外となり、自分たちの言動や生徒同士への関心が低くなり、人間関係のトラブルにならないということでした。その時は「なるほど」と妙に納得していましたが、次第にその方法が自分に合っていないと感じるようになりました。何より、根本となる自分たちの問題は解決しておらず、生徒たちが楽しくなさそうに感じながらも、それを突き放しながらバレーを教えるのがつらかったからです。その経験が根底にあり、今の「寄り添う」という考え方に繋がっています。

疑問や不明がそのままになっていると、不安になり、不満・不信となることがあります。そんな時、自分の周りの人、家族、自分の所属しているグループ等々では、どんな言葉が使われていますか。例えば、SNSのやりとりでは履歴が残っています。その人やグループとのやりとりには、どんな言葉が残っていますか。温かい言葉が多いですか、建設的なやりとりが多いですか。それとも、不平不満、攻撃的・批判的な言葉が多いですか。不満や批判を否定するつもりはありません。課題解決の大切な視点となります。不安・不満を解消したい課題を解決したいと思い、それを言葉にすることも必要なことです。ただ、不平不満や陰口で終わってしまうと、視点が外に向かったままで自分・自分たち自身に目が向かなくなってしまうがちです。解消・解決方法は、前向き、建設的な考え方から見えてきます。そして外への働きかけにつながっていき、広がりが出て、人とのよい関係が解決・解消に役立ちます。

あなたの周りでは、どんな言葉が交わされていますか。子どもたちには、正しい前向きな言語環境で育ててほしいですね。愛を感じる、感じさせる言葉を発している人は素敵ですよ。